

## 国語 (その一)

**第一問** 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

問題文は、著作権者の許可が得られた後に掲載します

国語 (その二)

問題文は、著作権者の許可が得られた後に掲載します

## 国語 (その三)

問題文は、著作権者の許可が得られた後に掲載します

(北村匡平『遊びと利他』による)

(注1) ルネ・ジラルル — フランス出身の文芸批評家 (1923～2015)。

(注2) 試聴 — ここでは、視聴の意味。

(注3) 室井尚 — 美学者 (1955～2023)。

※ 問題作成上の都合で、原文の一部に手を加えてあります。

## 国語 (その四)

問一 傍線部A「現代社会に生きる人間は、もはや作品そのものを味わうのが困難になりつつある」とあるが、それはなぜか。その説明となるよう、次の文の空欄に入れるのに最も適切な部分を、本文中から十五字以上三十字以内で抜き出し、最初の十五字を答えなさい。

現代は

であるから。

問二 傍線部B「タイパを重視した視聴行為」とあるが、これはどのような行為なのか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 作り手の営みをいっさい考慮することがなく、自分たちで好きに議論するために材料として観る行為。
- ② 他者の欲望を模倣し、他者に同化するために、対象そのものではなく、記号を効率的に所有する行為。
- ③ 流行に取り残されないようにひたすら作品を大量に観ることにより、情報を圧縮し、差異化する行為。
- ④ 作り手と対話しようとはせず、利己的に作り手の創作物を支配しようとする、きわめて浪費的な行為。
- ⑤ 作り手の作品を恣意的に作り変えることで、自分に最適化し、作品を情報として消費する行為。

### 問三

X

に入る、次のア～エの四つの文の正しい並び方として最も適切なものを、後の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ア 対して作り手は、語りのテンポをあげ、カット割りを速め、過剰に躍動的な映像で飛ばし見や早送りをさせないようにする。
- イ あるのはお互いが他者を支配しようとする利己的な営為であろう。
- ウ ここには作り手と受け手の「対話」は見出せない。
- エ 動画配信サービスの視聴者には、自らの意のままに操作して、作り手が創り出した表現を味わうことなく、「情報」として他者よりも早く取り込もうとする受け手が多くいる。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| ① ウ→ア→イ→エ | ② ウ→イ→エ→ア | ③ エ→イ→ウ→ア |
| ④ エ→ア→ウ→イ | ⑤ エ→ア→イ→ウ |           |

## 国語 (その五)

**問四** 傍線部C「情報の濃密化」とあるが、これによる視聴によって、視聴者はどのようになるのか。五十字以内(句読点なども字数に含む)で答えなさい。

**問五** 傍線部D「恍惚」とあるが、この言葉の意味として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 性質や才能が鍛えあげられること。
- ② 興奮し、自らを奮い立たせること。
- ③ かつてない新時代を作り出すこと。
- ④ 心を奪われて、うっとりすること。
- ⑤ 感情が盛り上がって緊張すること。

**問六** 傍線部E「ポテンシャル」とあるが、この言葉を漢字四字で言い換えなさい。

**問七** 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 自分が見たい情報ばかり入手できるインターネットやスマートフォンは、使い勝手の悪いメディアである。
- ② 効率を求める倍速視聴や早送りは、今に始まったわけではないが、昔は社会問題化されることはなかった。
- ③ アナログメディアをあえて導入することで、普段接しない情報をつかむ手がかりを持つことが必要である。
- ④ 現代の映画やドラマは、昔とは違い、作り手の無意識を捉えたり、作品を拡張したりできなくなっている。
- ⑤ 情報にアクセスすることにかけては、新聞というオールドメディアは、デジタルメディアと遜色がない。

## 国語 (その六)

第二問 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

問題文は、著作権者の許可が得られた後に掲載します

国語 (その七)

問題文は、著作権者の許可が得られた後に掲載します

## 国語 (その八)

問題文は、著作権者の許可が得られた後に掲載します

(渡名喜庸哲『レヴィナス 顔の向こうに』による)

(注1) レヴィナス — フランスの哲学者 (1906～1995)。

(注2) プラトン — 古代ギリシアの哲学者 (前427～前347)。

※ 問題作成上の都合で、原文の一部に手を加えています。

問一 傍線部①～④のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 傍線部A「コミュニケーションの条件」とあるが、その条件とは何か。その説明となるよう、次の文の空欄に入れるのに最も適切な部分を本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

他者を

□

問三 空欄イに入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 恣意的      ② 所与的      ③ 還元的      ④ 機械的      ⑤ 有機的

問四 傍線部B「対話」のカタカナ語はダイアログであるが、この言葉の対義語である「独白」をカタカナ語で言い換えなさい。

## 国語 (その九)

問五 傍線部C「人間という存在」とあるが、レヴィナスは『存在の彼方へ』の中で人間の存在をどのように捉えているのか。その説明となるよう、次の文の空欄に入れるのに最も適切な部分を本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

と捉えている。

問六 傍線部D『糧』の『享受』とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 視覚や聴覚や触覚を通じて他者と関わる人間は、自己と異なる部分を多く持つ他者とともに生きているということ。
- ② 自分の置かれた環境のなかで生きるしかない人間は、自分の意のままにならない不本意な生を送るということ。
- ③ 年を取ることによって専門的な介護者や家族とともに生活することになる人間は、他者に依存せざるを得ないということ。
- ④ 能動的、理性的、自律的に自己決定ができない人間は、苦しみや老いなどを甘んじて受け入れるということ。
- ⑤ 身体を備え、さまざまな環境と関係を持たざるを得ない人間は、自らの制御を超える要素を抱き込むということ。

問七 次の一文を挿入する場所として最も適切なものを、後の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

レヴィナスの見立てとしては、身体的な「苦しみ」や「老い」は、「健康」というモデルから離反するがゆえに矯正したり厄介払いしたりすべきものではない。

- ① 【I】      ② 【II】      ③ 【III】      ④ 【IV】      ⑤ 【V】

## 国語 (その十)

問八 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 社会福祉が対象とする「他者」は、言語的なコミュニケーションが不可能な、一般的な主体とは異なった特殊な存在である。
- ② これまでの社会福祉学は、身体的な要素を重視することがなかったのだが、レヴィナスを受容したことで変化し始めた。
- ③ 理性を備えて合理的に思考する主体として、人間を捉えるのと捉えないのとは、援助のあり方そのものが異なってくる。
- ④ 人間は生活している場所から切り離して捉えることができないのだから、まず生活している環境を整えなくてはならない。
- ⑤ 私たちは「他者」との対話的な関係に入ることによって、環境にも意識が向かい始め、外的要素を受け入れるようになる。

## 国語 (その十一)

**第三問** 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

問題文は、著作権者の許可が得られた後に掲載します

国語 (その十二)

問題文は、著作権者の許可が得られた後に掲載します

## 国語 (その十三)

問題文は、著作権者の許可が得られた後に掲載します

(稲垣諭「ツルツル人間、私たちは幾何学の奴隷か？」より)

(注1) フッサール ー ドイツの哲学者(1859～1938)。

(注2) エウクレイデス ー 古代エジプトのギリシヤ系数学者、天文学者(前3000年頃生存)。英語読みではユークリッド。

※ 問題作成上の都合で、原文の一部に手を加えています。

## 国語 (その十四)

問一 傍線部①～④のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 傍線部A「われわれ人間はこの幾何学に縛られるようになったのだ」とあるが、このことにより、人間はどのようなようになったのか。その説明となるよう、次の文の空欄に入れるのに最も適切な部分を本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

人間は  ことになった。

問三 空欄イ、ロに入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- ① しかし      ② さらに      ③ たとえば      ④ つまり      ⑤ あるいは

問四 傍線部B「幾何学の理想的な形」とあるが、この説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 幾何学の理想的な形など現実には存在していないのに、それを探し求めることに人間は躍起になっていた。
- ② 幾何学の理想的な形に縛られることによって、人間が人間になるとともに、ツルツルした人間にもなった。
- ③ 図形や空間の性質を数学的に研究しているうちに、人間は幾何学の理想的な形を発見することになった。
- ④ 人間はさまざまな道具をつくる中で幾何学の理想的な形を観念的に構築し、それに支配されることになった。
- ⑤ 幾何学の理想的な形が視覚メディアにより映像化されたため、いままで以上に人間を苦しめるようになった。

問五 空欄甲には「対称性」を意味するカタカナが入る。そのカタカナ語を書きなさい。

## 国語 (その十五)

問六 傍線部C「多くの人が脱毛していますね」とあるが、一九二〇年代以降のアメリカでは、なぜ脱毛するようになったのか。その説明となるよう、次の文の空欄に入れるのに最も適切な部分を、本文中から十字以内で抜き出して答えなさい。

□□□□□□□□□□  
と思われなかったため。

問七 傍線部D「辟易」の意味を答えなさい。

問八 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 人間は道具や家畜にネガティブなイメージを抱くのは、偏見だったことにいまさらながら気づきはじめた。
- ② 自分の能力を高めることで、広く社会や人の役に立つ利他的な人間になることは、理想的な生き方である。
- ③ 人間が道具や家畜に行なってきたぞっとするようなことが、自らの身にふりかかってくる可能性が出てきた。
- ④ 曲がった野菜や歪んだ野菜が市場で流通できないのは、市場よりも消費者の心理的な問題のほうが大きい。
- ⑤ アスリートは、コンピュータや機械と同様の性能を持つように、自分の能力を鍛えあげなくてはならない。